

「次世代郊外まちづくり」の2014年度リーディング・プロジェクトの一つ  
「住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー」  
の活動報告会(最終報告)を開催！！

◆地域の方々のアイデアから誕生した15企画が、これまでの活動成果を発表します。

横浜市と東京急行電鉄株式会社(以下「東急電鉄」)が協働で推進する「次世代郊外まちづくり」\*(裏面参照)は、10月4日(土)に、「住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー」(以下、本プロジェクト)の最終活動報告会を、たまプラーザ テラス プラーザホールで開催します。

元気で豊かなコミュニティや魅力的なまちの実現に向けて提案された15の企画について、これまでの活動内容と成果、今後の活動方針などについて発表します。

昨年8月に開始された本プロジェクトでは、自分のまちに愛着や誇りを持って行動する企画を、地域にお住まいの方やNPOなどの活動団体などから広く募集しました。講習会を経て「次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト」に認定された15の企画に対して、支援金交付や専門家による支援体制、住民と民間事業者のマッチングなど、さまざまな方法を通じて、横浜市と東急電鉄がその活動を支援してきました。

約1年間の活動を通じて、ウォーキングと地域情報の収集を兼ねた「ポスティング事業」や、健康イベントを通じた多世代コミュニティづくり、地域活動の活性化や新たなコミュニティ創出につながる「コミュニティスペース」の開業など、具体的な取組みが実現しています。

<活動報告会(最終報告)の概要>

1. 日時  
平成26年10月4日(土)  
13:00~17:30(受付開始12:30)
2. 会場  
たまプラーザ テラス プラーザホール  
by iTSCOM(東急田園都市線たまプラーザ駅直結)  
所在地:横浜市青葉区美しが丘1-1-2  
※入場無料
3. 内容  
「次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト」  
に認定された15企画による活動報告

※住民創発プロジェクトに認定された15企画ならびに制度の詳細については、別紙のとおりです。



参考1) オールたまプラーザの健康・コミュニティづくり  
(たまプラーザ テラスで実施した青空ヨガの様子)



参考2) 地域の様々な人が集えるコミュニティスペース  
(本年8月開業)

\* 「次世代郊外まちづくり」は「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携、協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく、参加型、課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。

この取組は、横浜市が推進している「環境未来都市計画」の主要な取組である

「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」に位置づけられています。



お問合せ先		
横浜市 建築局住宅部住宅再生課長	大友 直樹	Tel 045-671-4543
温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長	甲斐 泰夫	Tel 045-671-2336
東京急行電鉄株式会社 社長室広報部 森田・柳澤・山本・長谷		Tel 03-3477-6086



平成 26 年 9 月 24 日  
横 浜 市  
東京急行電鉄株式会社

報道関係者 各位

「次世代郊外まちづくり」の2014年度リーディング・プロジェクトの一つ  
「住民創発プロジェクト –シビックプライド・プロジェクト–」  
の活動報告会(最終報告)を開催！！

◆地域の方々のアイデアから誕生した15企画が、これまでの活動成果を発表します。

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」）が協働で推進する「次世代郊外まちづくり」\*（裏面参照）は、10月4日（土）に、「住民創発プロジェクト –シビックプライド・プロジェクト–」（以下、本プロジェクト）の最終活動報告会を、たまプラーザ テラス プラーザホールで開催します。

元気で豊かなコミュニティや魅力的なまちの実現に向けて提案された15の企画について、これまでの活動内容と成果、今後の活動方針などについて発表します。

昨年8月に開始された本プロジェクトでは、自分のまちに愛着や誇りを持って行動する企画を、地域にお住まいの方やNPOなどの活動団体などから広く募集しました。講評会を経て「次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト」に認定された15の企画に対して、支援金交付や専門家による支援体制、住民と民間事業者のマッチングなど、さまざまな方法を通じて、横浜市と東急電鉄がその活動を支援してきました。

約1年間の活動を通じて、ウォーキングと地域情報の収集を兼ねた「ポスティング事業」や、健康イベントを通じた多世代コミュニティづくり、地域活動の活性化や新たなコミュニティ創出につながる「コミュニティスペース」の開業など、具体的な取組みが実現しています。

＜活動報告会（最終報告）の概要＞

1. 日時  
平成26年10月4日（土）  
13：00～17：30（受付開始12：30）
2. 会場  
たまプラーザ テラス プラーザホール  
by iTSCOM（東急田園都市線たまプラーザ駅直結）  
所在地：横浜市青葉区美しが丘1-1-2  
※入場無料
3. 内容  
「次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト」  
に認定された15企画による活動報告

※住民創発プロジェクトに認定された15企画ならびに制度の詳細については、別紙のとおりです。



参考1) オールたまプラーザの健康・コミュニティづくり  
(たまプラーザ テラスで実施した青空ヨガの様子)



参考2) 地域の様々な人が集えるコミュニティスペース  
(本年8月開業)

＜裏面あり＞

\* 「次世代郊外まちづくり」は「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携、協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく、参加型、課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。

この取組は、横浜市が推進している「環境未来都市計画」の主要な取組である「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」に位置づけられています。



お問合せ先		
横浜市 建築局住宅部住宅再生課長	大友 直樹	Tel 045-671-4543
温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長	甲斐 泰夫	Tel 045-671-2336
東京急行電鉄株式会社 社長室広報部 森田・柳澤・山本・長谷		Tel 03-3477-6086

## (別紙1) 『次世代郊外まちづくり 住民創発プロジェクト』に認定された15企画

No.	団体名称	企画テーマ	概要
1	美しが丘カフェ	子育て家庭と地域をつなぐことから始める豊かなまちづくり	茶話会やイベント等を通じた子育て支援やコミュニティづくりを継続的に開催。子育て家庭で要となる親が楽しみながら安心して参加でき仲間を作るきっかけや場を提供。
2	フラッシュモブ実行委員会	「たまプラー座だよ！全員集合！」 まちの人たちでつくるオリジナルパフォーマンス(フラッシュモブ)の実行	平成25年11月、たまプラーザ テラス ステーションコートで約150名が参加した「フラッシュモブ」を実施。地域住民が楽しく育ち合う場を提供するとともに、積極的に地域活動に関わる人材を育成。
3	交流の森プロジェクトチーム	交流の森	さらなる地域活動の活性化を目指し、地域活動・住民・働く人・大学・行政・企業等がつながる「プラットフォーム」創出に向けた様々な取組みを実施。
4	たまプラーザ中央商店街 +AOBA+ART	たまプラナイトウォーク ～光でつなげる街の輪～	アートプロジェクトを手掛ける団体と商店街がコラボレーションし、地域住民・団体と連携して、平成25年12月に地元商店街でナイトウォークイベントを開催。
5	3丁目カフェ準備委員会	3丁目カフェ	地域活動の活性化や新たなコミュニティ創出につながる場の提供を目的に、コミュニティスペース「3丁目カフェ」を平成26年8月にオープン。
6	AOBA+ART 2014実行委員会	A O B A + A R T 2014展(仮)	地域住民と協働でアートによるまちづくりを展開。平成26年9月20日から10月5日まで、駅・遊歩道・住宅街を舞台としたパブリックアート展を開催。
7	あおばフレンズ (LLP青葉まちづくり活性化協議会)	地域雇用創出と街の安全安心 ～ポスティングで健康増進とおこづかい稼ぎ、 そして緩やかな見守りを～	「地域での雇用創出」「健康づくり」「街の安全安心」を目指し、ウォーキングと地域情報の収集を兼ねたポスティング事業を開始。
8	美しが丘Diamonds	学校を拠点とする地域住民交流の促進	地域に関わる人達が緩やかに連携できるプラットフォームを目指し、全9回の連続講座「お父さんのための筋トレ講座」などを開催。
9	オールたまプラーザの 健康・コミュニティづくり	オールたまプラーザの健康・コミュニティづくり	誰でも気軽に参加できるエクササイズ講座や運動イベントを通じて、世代を超えた幅広い地域のコミュニティづくりを実施。平成26年10月13日には、東急百貨店たまプラーザ店の芝生広場で青空ヨガイベントを開催。
10	「たまプラ楽食」プロジェクト	現代・たまプラ版「御用聞き」の実施 「食の楽しみが皆をつなぐ」 →「御用が有れば、いつでも食のコンシェルジュ」	「食の楽しさ」によって住民同士をつなぐイベントを、他の団体と連携して平成26年6月に開催。
11	たまプラフレンズ	住民主導型まちづくりネットワーク たまプラnetwork	まちづくりに関心をもつ人たちのゆるやかなネットワークづくりをめざし、ウェブサイト運営や各種勉強会・見学会、ワークショップなどの様々な企画を立案・実施。
12	特定非営利活動法人森ノオト	シビックメディア『たまプラびと図鑑』	たまプラーザに暮らす人の魅力を集めたコミュニティ探索ブック「たまプラーザの100人」を、他団体や地域住民と連携して制作。平成26年10月上旬に発売。
13	Loco-working 協議会 たまプラプロジェクトチーム(たまロコ)	たまプラで暮らし、働く →ロコワーキング	子育てをテーマにした企業とまちを結ぶワークショップを平成26年7月に開催。No.12の「たまプラーザの100人」制作にも携わり、クラウドファンディングによる資金調達を実施。
14	特定非営利活動法人 森ノオト	たまプラーザ電力プロジェクト	市民電力を通じた地域循環型コミュニティの形成に向けた検討委員会を開催。組織化・事業化に向けた検討を重ね、事業会社を平成26年9月に設立。
15	たまプラ油田開発プロジェクト	シビックプライドを育むコンパクトな 資源循環型コミュニティを試みる	家庭で排出される食用油を回収し、再利用可能なエネルギー資源(植物性ディーゼル燃料)にする活動を展開。油の回収ステーションを地域内で6カ所設置し、これまで約200kgの廃油を回収。

## (別紙2) 『住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー』の制度

### <応募資格>

以下の条件をすべて満たす団体。

- ・ 3人以上の団体であること（法人も可）。
- ・ モデル地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）にお住まいの方、モデル地区内に将来住みたい方、モデル地区に愛着のある方、モデル地区のまちづくりに関わりたい方であること。
- ・ 講評会、活動報告会に必ず参加でき、その他の本プロジェクトの各種行事にも積極的に参加できること。

### <対象となる企画提案>

以下の条件をすべて満たす企画提案。

- ・ 企画提案の内容が、「次世代郊外まちづくり」の基本方針・取り組みに合致していること。
- ・ 企画提案の実施対象箇所が、モデル地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）を含んでいること。

### <支援金>

一つの企画提案につき、最大50万円を交付。<住民創発プロジェクトの流れ>をご覧ください。

実施支援金 : 上限50万円

企画検討支援金 : 上限 5万円

### <住民創発プロジェクトの流れ>

